

平成30年度 第1回

川合市長と語り合うタウンミーティング

～ 芳野地区 ～



日時：平成30年7月24日（火）

午後6時30分～8時00分

場所：芳野市民センター

参加者

芳野地区 34名

出席者

市長、栗原副市長、市民部長、福祉部長、こども未来部長、
産業観光部長、都市計画部長、建設部長、学校教育部長、
総合政策部副部長（総合政策部長代理）、防災危機管理室長（危機管理監代理）

意見数

分類	件数	内容	頁
子ども・子育て	1	・ひとり親家庭等学習支援事業	12
福祉・保健・医療	1	・高齢者の買い物難民	11
都市基盤・生活基盤	5	・（仮称）東環状線の整備 ・南古谷駅北口開設に伴う道路整備 ・市民聖苑前交差点を北側に抜ける道路 ・通学路の歩道整備 ・デマンド型交通	4 6 7 8 10
産業・観光	2	・川越産農産物の地産地消 ・農業後継者の問題	14 16
地域社会・市民生活	1	・芳野小学校周辺での駐車場確保	17
住民自治・行財政運営	2	・芳野地域会議の現状 ・芳野市民センターの建て替え	2 3
計	12		

意見交換（要約）

《芳野地域会議の現状》

意見 芳野地域会議の現状ということですが、まず市から平成 26 年に地域会議を立ち上げるという話がありました。当時の役員と、それから当時の出張所長と協議しながら、芳野の各団体さん全員が構成員に入っていていただいて組織を立ち上げ、芳野地域会議を進めてまいりました。

今、活動しているのが、まず第 1 に、この市民センターの建て替えの要望についてであります。平成 23 年度から建設検討委員会を立ち上げてきましたが、芳野は支会長が 1 年交代で継続性がなかなか持てないものですから、その年度、年度の支会長さんも建設検討委員会の構成員に入って、要望を行ってきたのが現状です。それから、地域会議で 5 つの部会を立ち上げようということで、まずは、市民センターの建て替えの建設部会を真っ先に立ち上げ、構成員は各年度の正副の支会長さんに入っていて、今も活動を続けています。

昨年度、福祉の関係の役員の方たちにご尽力いただいて、福祉部会という 2 つ目の部会を立ち上げ、これから活動を始めていこうというところです。あと 3 つ、教育部会、環境部会などを今年度中に立ち上げて、部会間でそれぞれの課題などを取り上げて、行政との窓口を 1 つにしていければと考えています。

今まで芳野は、各地区の課題、たとえば道路の保全、街路灯の設置だとか、大きなものから小さなものまで、すべて各地区の自治会長さんが、市に要望を行ってきたのが現状です。平成 26 年にこの地域会議が立ち上がって、大きなもの、小さなものを、地域会議で一つひとつ問題点を挙げていき、窓口を 1 つにして優先順位をつけるなどして、大きなものはこの地域会議で行政と話し合って改善していければと。まだまだ小さい道路の保全などは各地区の自治会長さんが進めているのが現状です。

地域会議は、まだまだ産声を上げたばかりで組織が軟弱ですけれども、皆さんの協力で 1 つでも 2 つでも、緩やかに組織の足固めをしていければと思っております。市民センター管内はやはり一つ場所があって、そこに職員がいてくれて、その職員といろいろと相談ができて進みやすく、旧市内の支会の皆さんとはちょっと違った形で地域会議も進めていけるのかなと、そういう点は助かる面も多々あります。そ

ういったところをうまく利用してやっていければと思います。今そういった形で芳野地域会議は緩やかに進めているのが現状でございます。

《芳野市民センターの建て替え》

意見 先ほども話しましたように、平成 23 年度から建設検討委員会というものを立ち上げて、市のほうに要望を毎年してまいりました。平成 26 年に地域会議に建設部会を立ち上げて、ともに要望してまいりました。それから、平成 29 年度は農協の敷地を使って、そこに建てられないかということで J A いるま野に役員の方たちと行って、3 年ほど相談しました。J A いるま野の側からは、敷地内に農協と市民センターをとすることはちょっと難しいという回答がありましたので、今まで、ここにある市民センターの場所に新たに建て替えていただけるように要望をしているところです。芳野が市民センターの中で一番古いということで、イの一番に建て替えていただければありがたいんですけども、今どの程度まで我々の要望が届いているのか、その点をお聞かせいただければと思います。

市長 市民センターの件につきましては、今お話が出ましたように、いつとき農協さんと協働していくという方向性を行政のほうも望むところがありましたので、手続等に時間をとられてしまったという面があります。遅れが出てしまっていることについては大変恐縮なのですけれども、行政としてはそれがだめになった後、建設予定地について地域の中で若干のご意見があるということもございました関係で、これもまた少し遅れる要素になってしまったという面がございます。

しかしながら、この芳野の市民センターや公民館は、川越市の中で一番古い市民センターということは十分認識しておりまして、この同じ場所という方針が揺るぎなくなった時点で、なるべく早く住民の皆さんとの意見交換を始めて、導入機能等々についての話し合いを始めるようにという指示は出しておりますので、間もなくそのような方向での話し合いが始まろうかと考えております。

総合政策部副部長 今、市長からお話があったとおり、芳野市民センターは市内の市民センターの中では最も古い市民センターであるという認識がございます。とはいっても川越市の公共施設というのは、芳野公民館、市民センターと同様に、1970 年ごろ、昭和 45 年ぐらいから 10 年ぐらいをピークにほとんどのものができています。それが一斉に更新時期を迎えるといった中で、どこから、どういう順番で、ど

の程度のものをつくっていかうかということについては、やはり長期的な視点で計画を立ててやっていかなければならないという認識がございます。ご要望があったところからどんどんというわけには、やはり公平性といった点からも難しいところがございます。

そうした中で、公共施設等総合管理計画というものを平成 28 年 6 月に策定しまして、その中の個別実施計画を今、策定しているところです。これは市民センター、小・中学校、保育園等、特に緊急性が高いものについては、先行して中身のほうを詰めておりまして、芳野市民センターについても、この中で現在、検討を進めております。

こうした中で、必要な機能、規模というものを考えておりますので、先ほどお話があったとおり、地元の皆様の総意として場所をある程度固めていただく中で、具体的な検討に入っていきたいと考えてございます。

意見 ありがとうございます。場所の件ですが、今、芳野市民センターがある、この場所にということで、芳野地域会議の全体会でも、役員の総意で決まりました。自治会長会議のところで自治会長さんたちには了解を得て、地域会議の全体会でも、この場所での建て替えということが芳野全体の総意ということで話がまとまっています。また市に要望して、ここで早期に進めて、いいご返事を近いうちにいただけることを期待しています。

芳野のいろいろな行事をここで行っているんですけれども、やはりこの部屋が会議等を行うには一番広い部屋です。1 階に和室があるんですけれども、和室には大きな柱があったりとか、バリアフリーでもありません。小さいお子さん、高齢者の方たちは、なかなか来ても階段を上がって 2 階に上がるのは大変な状態なので、一日も早くいいご返事をいただきたい。場所もしっかりとした皆さんの総意で決めていますので、協力して一日も早く、この建て替えのゴーサインが出ればいいなと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

《(仮称)東環状線の整備》

意見 城西のほうから桶川県道まで拡張が進んでいるのは確認しているんですけれども、その先、桶川県道を上がって菅間の田んぼの道路、これが東部工業会のところに入って、それから先に、国道 16 号まで市で、そのまま続けて拡張するのか、

県道として進めていくのか、そのところの計画がどうなっているのかお聞きします。

市長 この道路については、もう大分前から県には県道として整備してほしいということを地元の議員さんを含めて、市から要望をしてきましたが、全く県が動かないということで、私が就任した後、市の力で、とりあえず手をつけようということで、落合橋たもとの北環状の終点のところから東のほうを、市道として整備を進めているところです。まだ釘無橋たもとの十字路から先の田んぼのところについては、具体的な事業決定はしていませんが、方向性としては、少なくとも、芳野台の工業団地までは市が整備するよりしようがないだろうというふうに思っております。その先については、並行して県に要望を出しつつ、国道 16 号に至るまでの道については現道を大いに利用する形になると思うんですけども、整備をしていきたいと考えています。ですから、少なくとも落合橋のところから芳野台の工業団地までは、市で整備するつもりで進めているところです。

意見 東部工業団地までは市でやっていく方針だという、行く行くはその北環状みたいな形で、県道化という形でその先は切りかわることもありますか。

建設部長 東環状線につきましては、先ほど市長から説明があったとおり、工業団地まで今、拡幅をしています。地元の方はご存じだと思いますが、もとの国道 16 号から工業団地というんですか、県道のところまで、これは昔、パーク道路とかいって、もとの川の廃堤敷を使って拡幅をして、川越の中でも比較的広い拡幅の規格の道路で整備されているところがございます。ですので、まずはその芳野の工業団地までつなげて、その先の既に少し広がって整備されている道路につなげて、その東の環状を形成するような形で整備をして、国道 16 号との機能を強化していこうかと考えているところです。

県道については、上尾線もございますので、そちらの整備もお願いしながら、交差点の改良等をしていただいて、渋滞等々の解消をしていただければと考えているところです。

意見 菅間の路面道路なんですけれども、川島のインターができた関係で、東部工業団地の中に物流倉庫がかなり多くなって、いろいろな車両、大型車両が走っていて、その道路ですれ違うのにはちょっと雨が降ったりとか雪の日だと、田んぼの中に結構落ちたりなんかして、生活道路のほうに大きな車が入ってきているんですね。菅間地区でもガードレールを設置したり、子どもたちの通学路を確保したり、今、

努力しているんですけれども、そういったところに大きな車がかなり入ってきて、いち早く、工業団地まで道路を広げていただければ、そこに大きな車が集中して入っていただければ、また随分違ってくるだろうし、これはそのまま計画して、桶川県道までは 30 年度までに終わる予定なんですか。

建設部長 計画県道のところまでは、もう事業で用地も入って、用地買収も進んでいます。釘無橋の県道も、県と協議が終わっていて、用地を市で買収しながら交差点改良するという事で約束ができております。

それから、その先も測量にかかる場所ですが、そこが一番今、困られていると思うんですが、そここのところも市長から早くやれということで指示も出ておりますので、頑張ってやっていきたいと思っております。

意見 わかりました。一日も早くよくなれば。子どもたちの安全をまず考えて、早期に始めていただければと思います。ありがとうございました。

《南古谷駅北口開設に伴う道路整備》

意見 私は平成 28 年度に芳野地区の支会長を仰せつかりまして、そのときに芳野、古谷、南古谷、3 地区で市長さんのところに、南古谷駅北口開設についての陳情に行ったかと思います。その後、北口開設が具体化してきたようなので、道路整備はどのように考えているのかお聞きしたいと思います。

南古谷駅の北口に向かってくると、まず最初に伊佐沼が、国道 16 号を越えると思うんですけれども、今、伊佐沼に直で来るには、譲り合い道路のような本当に小さな道路しかないようです。あとは回り込んで、あれは伊佐沼入り口という交差点から戻ってくる感じなんですけれども、できれば北口が開設になった折には、直で伊佐沼のほうに入ってきて来れるような道路の整備を。また、伊佐沼は、農業用水としての役を果たしていると思うんです。そのほかに、ちょうどハスが咲いたり、春には桜がすごい満開になって、市内の観光もそうなんですけれども、そういうお客さんの観光の面も考えまして、道路整備をしていただければありがたいなと思っています。

市長 南古谷駅の北口から伊佐沼方向に行く道路については、今、考えているのは北口から既存の愛和病院のすぐ東側の直線道路がありますね。そこに北口からつなげて、道路を拡幅するという方向で考えております。もう計画線が入って、地元説

明等もやっているという状況であります。まだ、すべての地権者の方の理解が得られていないという部分はあるんですけども、いずれ伊佐沼のところを通過して、芳野台の工業団地につながるような、そういう整備された道にしていきたいと考えております。

意見 ありがとうございます。

建設部長 国道 16 号から伊佐沼の方向については、先ほど言われた伊佐沼入り口という交差点から入るところと、あと 2 路線も今、整備しております。おっしゃっていた今度広がるであろうところとの関係は、高圧線が通っているところですが、そこについてはまた、今後検討してまいりたいと考えております。

意見 ありがとうございます。

意見 北口がせっかくできるんで、芳野もその恩恵をあずかれるように環状のほうまで入っていただければと考えています。

《市民聖苑前交差点を北側に抜ける道路》

意見 やすらぎのさとと斎場の入り口の丁字路の国道 16 号の交差点がありますね。国道 16 号の前交差点のところを北に抜ける工事について、平成 24 年度に、前回の市長タウンミーティングのときに要望を出しました。要望書を出して、その後 5 年ぐらい経過していますので、当時の役員からも私のほうに、再度、報告と説明をよろしくお願いしたいということを言われました。

国道 16 号から北に住んでいる方がやすらぎのさとや斎場等のほうに行くには、市道 1 号線の伊佐沼の坂東側のところから南に真っすぐ行きますと出づらいんですよ。国道まで出るのに出づらくて、すぐ右折になってしまい、なかなか出られないので、島忠か沼のほうから回り込まないとだめなんです。島忠の南側の国道 16 号と一緒に走っている道路は結構広い道路なんですね。だから、国道 16 号のその交差点を北に大体 20 メートルぐらい抜けると、今度は信号機で渡れるんで、交通の便と危険性も随分違うのかなということでメリットは随分あると思います。このことについて 5 年経過したので、再度説明をよろしくお願いしたいと思います。

市長 この道路についてご要望をいただいた記憶はございます。その後いろいろ検討はさせていただいたんですけども、丁字路を真っすぐ北へ抜けて途中で今ある南北の道路につなげるという道路を考えるのか、それとも、今ある南北の道路をそ

のまま国道 16 号までぶつける、最後の 20 メートルぐらいが道幅が狭いですね。そこを拡幅するという形でやるのかなど、いろいろ検討はしていましたが、後者のほうが現実的であろうと考えているところです。ですから、やすらぎのさとの脇の道をそのまま北へ抜けさせるというのは、検討した結果、優先順位はそれほど高くないと言わざるを得ないという判断でございます。

意見 わかりました。それでは、市道 1 号線から国道 16 号に今の通りがありますね。あれを抜けるのが優先ですか。

市長 そちらのほうが早いと思います。

意見 そうすると、国道 16 号に出るときに信号機がないですね。

市長 国道 16 号に出るときに、すぐ隣に信号がある場所に信号がつけられるかどうか、それはなかなか難しい問題があるかと思います。例えば、出たときに左折しかさせないとか、そういうような形に持っていくことになるのではないだろうか。ですから、国道 16 号から左折して入るか南北の道から左折して国道 16 号に入るか、そういうような形の道路になるのではないだろうかと考えています。

意見 わかりました。今の道路でいくと、左折して、すぐ右折するようになりますよね。

市長 やすらぎのさとのほうに行く場合ですか。

意見 そうです。だから、その距離的に右折車線のほうへ移動するようになってしまおうと思うんですね。だから、そういうのも危険かなと思うんですけども。

市長 実際につくるときは警察等とよく協議して、そういうのが可能なかどうかということも決めていかなければならないと思っています。

意見 わかりました。ありがとうございました。

《通学路の歩道整備》

意見 芳野地区は、ここ 10 年で人口が 1 割増加しております。南古谷地区ほどではございませんけれども、芳野小も結構児童が増えてきております。1 時期 3 クラスというときがございました。これは 50 数年ぶりのことでございまして、我々も子どもたちが増えるということは大変うれしく思っているところです。

ですが、芳野地区には、県道道路を抜け道として結構交通量の多いところがあり、危険なところもございます。そこを子どもたちが通学路として使用しているわけで

ございまして、その通学路に歩道を整備していただきたいと。川越市には、いわゆる陳情道路という要望された道路がたくさんあるかと思いますが、まずは通学路を最優先に実施していただきたい、これが1点でございます。

もう一つ、今、道路整備がされておりますけれども、毎年100メートルずつという形で実施されております。例えば500メートルの道路を1年でやるのと5年かけてやるのを比べますと、時差的には数倍かかってしまいます。非常に非効率でございます。

選択と集中ということが県で盛んに叫ばれております。川越市でも財源のない時代でございますので、選択と集中をお願いしたいと思います。

そして、300メートルの道路を整備するのに用地買収で3年、工事で3年、そして、物件の調査で1年、測量で1年、最低でも8年かかってしまいます。そうすると、小学校に入学した子どもたちが、もう中学校を卒業して高校生になってしまいます。そういうことがないように、通学路だけについては300メートルぐらいのものであれば用地買収1年、工事1年、測量1年、3年間で実施していただければと考えております。市長、あるいは部長の善処をお願いしたいと思います。

市長 通学路については、お気持ちというかご要望は重々承知しているつもりでございます。例えば500メートルの道路を100メートルずつ整備するのと一遍に500メートル整備するのでは、100メートルずつやったほうがトータルとしては高くつくということも重々承知はしていますが、それぞれの地域で、それぞれのご要望がたくさんございまして、現実問題として道路の補修を含めて、年間300件から400件のご要望があります。300件から400件というのは、例えばこの道路が陥没しているから埋めてほしいとか、そういうものも含めてですけれども、そのうち年間で対応できるのが100から150件ぐらいというような現状の中で、毎年積み残しがどんどんと積み重なっていくという、そういう現状がございます。

言いわけになってしまいますけれども、他地域とのバランスとか、そういうようなことも含めまして、気持ちとしては通学路は最優先して整備したいという考えがございますけれども、なかなか思うとおりにはいかないという面についても、ぜひご理解をいただきたいと思います。

意見 言っていることはよくわかるんですけれども、5年待っても3年先にはできるという希望があればいいんですけれども、5年たっても10年たっても一向に進

まないということであれば、ちょっと市民感情として、そちらのほうが好きくないなということがあります。

それから、具体例で建設部長に聞きたいんですけども、市道 3156 号線なんですけれども、もう 10 年ほど前に測量は済ませてあるのに一向に進まない通学路がございます。もう昨年度、さらに地権者との同意もとりましたので、ぜひともこの通学路、新田と中老袋の子どもたちの通学路ですので、すぐに進めてほしいと思います。

建設部長 私も事前に調べておりまして、以前なかなか用地のご協力をいただけない方などいらっしゃったんですが、おっしゃっていたような形で少しずつらせばということがあります。その辺については、設計を調整した上で、またご相談したいと思いますので、よろしくお願いします。

意見 来年度に物件調査費のほうをお願いしたい。子どもたちのためによりしくお願いいたします。

《デマンド型交通》

意見 デマンド型交通についてなんですけれども、本年度は第 3 地区で霞ヶ関、霞ヶ関北、川鶴、名細、山田地区で開始となっていますけれども、芳野地区での実施について現状の状況を、1、開始時期予定、2、停留所箇所の制限とかあるのであれば教えていただきたいです。やはり田園地帯ですので、できるだけ住宅地域のところに停留所があると好ましいかなと考えています。3 番目としては、芳野、古谷、南古谷で 1 台のワゴン車両で計画が立っていると思います。その中で制限等があるようであれば教えていただけたらと思います。

都市計画部長 ご要望ありがとうございます。公共交通が充実しております市の中心部を除きまして、市内の交通空白地域と言われるところについては、その市民の移動支援を目的としまして、また、さらには地域における生活の利便性の向上といったものを図るために、デマンド型交通の運行に向けた準備というのを行っているところでございます。

今年度につきましては、市の西部のほうにおいて運行を開始することになっているところでございますが、芳野地区につきましては、来年度中の運行を開始したいと考えているところでございます。

また、その停留所についてですが、具体的に、どこでといったような話が決まっているわけではありませんが、なるべく、各地域の皆様の利便性の高いような形を考えていきたいと思っております。例えば、200メートル単位で停留所を設けるとか、これから地域の皆様とよくお話をさせていただいて、どこに停留所を設けるのかといったようなことについてご相談させていただきたいと思っているところでございます。

意見 ワゴン車両は、1台で芳野、古谷、南古谷を回るということでよろしいですか。

都市計画部長 今のところは、そのような形を考えているところでございます。

意見 案としては、制限がかなりあるのか、曜日ごとなのか、どんなふうにお考えですか。

都市計画部長 例えば隔日運行にするとか、具体的に何曜日休みにしますとか、そういったところは、まだ詰め切れていないところでございます。こうしたところもこれからほかの地域の様子を見ながら、今後検討してまいりたいと考えているところでございます。

意見 ありがとうございます。地域包括支援センターとしても、「500メートル歩ける体づくり」というのをキャッチフレーズに、介護予防に取り組んでいます。今、200メートルという停留所案をいただきましたので、私たちも民生委員さんと一緒に考えていけたらと思っています。

《高齢者の買い物難民》

意見 高齢者の集まり、地域の集まり、それから民生委員をやらせていただいている中での訪問の際、今は車、自転車に乗れるからいいけれども、これがあと何年まで乗れるかな。そのときに買い物を近所にお願いと、やはりお礼をしなくちゃと思う。まず高齢になってくると、自分では行けないけれども、乗せていただくと何かをしなくちゃいけない、それも負担になるということをよく話に聞くんですね。

来年、芳野もデマンド型交通が順番で回ってくるということですので、そのお話を聞くと、皆、期待をしてくれると思うんですね。そして、やはり出たときには少しじゃなくて大きいものを買うというか、何回も出るよりは一度にいろいろなものをまとめて買ってこよう。そうすると、バス停が遠いと、ひとりで持っては帰って

こられない。ですので、なるべく 200 メートルと言っていたきましたが、お年寄りが集まる世帯が多かったら、そこは 200 メートルまで行かなくてもいいように考慮していただけたらうれしいなと思います。

都市計画部長 今いただいたお話ですけれども、その停留をどこにするかという話については、これから地域の皆様とよくお話しさせていただきながら、決めてまいりたいというところでございます。なかなかご自宅の前まで行けるかどうかというところは、いろいろあるかと思いますが、よく相談させていただきたいと思いますので、またいろいろ教えていただければと思います。

意見 ありがとうございます。

《ひとり親家庭等学習支援事業》

意見 子どもサポート委員会の委員長をしております。子どもサポート委員会では、小学校の 1 年生から 6 年生を対象に、この夏休み、前は 3 回やっていたんですが、今は 2 回、8 月の中旬に 2 回ほど寺小屋事業というのを、もう 10 年近く行っております。やはり小学校 6 年生ぐらいでも勉強の格差を感じる子どもはいます。そういう子どもたちも寺小屋に来ると 1 対 1 で結構面倒見られるので、集中して宿題を終わらせるような形ができております。

そういう寺小屋とかに来ない、家でひとりでお勉強しているような子たちが大勢いると思います。芳野はこのデマンド型交通等でおわかりのとおり、やはり市街に行かないと塾がないということで、ひとり親の子どもたちは自転車のみずから行くか、あるいは親がなかなか送ってくれないで、大体自分ひとりで行くしかないという状況が実情だと思います。お父さん、お母さんが送ってくれる、そういう家庭とは事情が違うと思います。今このような中学生を対象に、ひとり親家庭支援事業というのが始まっているようなので、芳野地区の利用状況、あと小学校に普及するのか、その辺の状況を教えていただきたいと思います。

こども未来部長 ひとり親家庭等の学習支援事業の内容でございますけれども、家庭の状況に左右されないでお子さんが意欲的に学習に取り組める環境を整えるという観点から、平成 28 年 7 月から児童扶養手当の受給者のひとり親家庭の中学生を対象に学習支援を実施しているところでございます。

芳野地区の利用状況でございますが、芳野中学校からも通っているお子さんはい

らっしゃると確認しております。この事業につきましては、川越駅西口から3分ぐらい歩いていただく、非常に駅から近いところにあるビルの1室を使って事業をしているところでございます。現在のところ89名のお子さんが全市から通っている状況です。

各中学校の状況でございますけれども、中学校で通われている生徒さんの数はまちまちだとは思いますが、おおむね同じぐらいの程度の比率の方が通われていると認識しているところでございます。ですので、特に芳野中学校から利用率が低いような状況というのは認められておりません。

この事業を広める方策につきましては、毎年市のホームページや広報で周知をするということと、対象となるお子さんが約600人程度市内でおられますので、そのご家庭に募集のチラシ等を郵送でお送りしているところでございます。送付後には、新規で児童扶養手当を申請した保護者の方が対象となるお子さんを養育している場合は、当日チラシを配布するなどの周知に努めているというところでございます。周知につきましては、対象となる方に万遍なく、この事業の内容についてお伝えしていると考えております。

市長 学習塾の事業者に委託して、最大公約数的に皆さんが集まりやすいところであろうという駅の近くでやっているわけなんですけれども、もともと地域会議を組織していただいたのが、地元の課題を皆さんで話し合っただけで抽出していただいて、それを地元の人たちがどういうふうに解決していこうかというようなことを考えていただいて、そこに対して必要であれば行政がお金を出しますというものとして、市側は地域会議を立ち上げていただいたという考えがございします。

今の話の延長でいえば、この地域で、ひとり親家庭で、学校授業以外の勉強の場を欲しいなという方がおいでであって、それがどうやったら解決できるかということ考えたときに、この地域で例えば教員をやめられた方、教員でなくても子どもたちに教えられる方が、地域の事業として、公民館とか自治会館などで、そんな遠くまで行かないで済むようにやっていただいて、それに対して補助金を出してくれという要請があれば、それは行政のほうで出すという、そのような解決の仕方も1つあり得るのではないだろうかと思ひます。この勉強の問題に限らず、そのような方向からの検討もしていただいてもいいんじゃないかと思ひます。

意見 ありがとうございます。やはり場所が川越駅西口ということで、芳野から

はとても通いにくい。もちろん個人情報だと思いますので、何名とは言えないとは思いますが、市長が今、おっしゃられたように、例えば、公民館で月に1回、私たちのほうからはなかなか人材を集めることができないので、退職された先生をシルバー人材さんとかに登録していただく、そういうやり方もあるんじゃないかというふうに少し考えております。

こども未来部長 いろいろやり方はあるのかなと感じているところでございます。

先ほどお話にありましたような寺小屋芳野っ子ですか、すでに活動されているものを見させていただいて、新しい取り組みだなと感じたところもございます。

この辺につきましては、いろいろ子どもの居場所づくりとも言われておりますし、その学習支援的な部分も中学生に限らず、小学生とか、あと回数も増やしてもらいたいとか、さまざまな要望も出ているところがございます。いかにそのような形で学習支援的な部分ができるのかというところは、教育委員会など関係するところもありますので、その辺とも協議して、できるだけ多くの方に支援が届けられるように考えてございます。寺小屋芳野っ子さんの取り組み等も参考にさせていただければと感じているところでございます。

意見 ありがとうございます。

意見 寺小屋事業等々もそういう指導者的な人間を市のほうから育てるような取り組みを進めていただければと思いますので、よろしくお願いいたします。

《川越産農産物の地産地消》

意見 私は農業を半世紀50年やっています。やはり昔から、生かさず、殺さずで、うまく行政は、たまには補助金、たまにはしっぺ返しという感じで、うまく昔から農民を転がしております。それは仕方がないことだと私は思っています。

それより私は、すばらしい話なんですけれども、自分の高校の恩師ですけれども、退職してから教育の関係のほうを幾つか引き受けるんじゃないかと聞いたけれども、僕は嫌だというんで、農業をするんだというんで、恩師が「100俵とるにはどれぐらい田んぼが必要だ」と言うから、「100俵とるんじゃ、1町5反で十分かな」と言ったら、「そうか、じゃ、俺やってみる」と、そしたら、先日コンバイン買って、何買って、一生懸命やったら100俵とれたと。「幾らもうかっていますか」と言ったら、「いや、利益は関係ない」と、「では、何ですか」と言ったら、「農業とい

うのは田植えして、後ろを見ると緑になっている。教育というのは一生懸命したって、世のため、人のためになっているか、それとも遊んでいるかというのはなかなか判断がつかない。農業というのは、すぐ判断がつく。そして、収穫の秋にはすばらしい、努力すれば実りの秋ですばらしい。だから、俺は今まで教育者として頑張ってきたけれども、農業が好きになった。その利益云々じゃなくて、そのように一番ぜいたくなものは、自分でつくったものを自分で食べられるということが一番大事だ」と言った。

一応、行政にも何か一言言いたいというので、どのように地産地消というか、川越市でも一生懸命野菜つくったり、米つくったりしていますけれども、なるべく地域の人が消費するのが一番幸せだと思うので、そういうことを一生懸命やっているんですか、それともそっぽを向いちゃって安いものを川越市は食べていけばいいんだと。あと、学校給食の関係でも、川越市の農産物を利用しているんですか。

産業観光部長 利用しております。給食などにも使っております。

市長 給食にももちろん地元の野菜とかを使っているんですが、全部というわけにはいかないんですよ。というのは、ある一つの品目のものを相当数量調達できるかどうかという問題もあるし、それから、やはりその地域での出来、不出来、そういう問題もあるから、給食の食材のうちの一部は地産のものを使っているという状況です。

意見 もし品物が100%集まらなきゃ使わないというの。

市長 100%集まらなきゃというのではなくて、川越市内で大量に調達できる品目と、そうでない品目があると思うんですよ。

意見 それを栄養士がうまくやればいいんじゃないの。

市長 栄養士の問題ではなくて、調達できるかどうかの問題なんです。

意見 調達できるか何とかというのは、いろいろな野菜があるんだから、別にキャベツだけ欲しいというんじゃないで、レタスでもいい、そのようにすれば地産地消というんで伸びてくるんじゃない。予算の関係もあると思うんですが。

市長 予算の問題ではなくて、一部は地元のことを必ず使うようにしていますという、そういう状況だということです。

《農業後継者の問題》

意見 後継者の問題について、本当に寂しい状態なんですけれども、どのような考えなんですか。

産業観光部長 今の後継者の問題は、芳野地区以外でも大変多くなってきております。そのような厳しい状況で、持続可能な力強い農業を実現してくために、その基本となる農業の問題を一体的に解決していくために人・農地プランというのがあるんですね。それを芳野地区では、平成 26 年 3 月に策定しております。これは川越市というま野農業協同組合の支店単位でつくっております。川越市内では今年度を含めると、12 地区の人・農地プランが策定されます。

その地域によってそれぞれ状況が多少違いますから、農政課でじっくりとお話をさせていただき、農協さんなども含め、話し合いの場所を設けまして、解決していくというようなことも行っております。

そのほか川越市のほうで川越市農業振興計画というのが来年度より新しく始まるんですけれども、この中では、審議会の中に学校の先生や農業に精通している人に入っていただき、計画を策定していくということをこれからやるところでございます。

意見 要は、金の卵だから、例えば 1 人 200 万ずつぐらい与えて、出世返しでいいよというんで、ぜひ働いていただきたい。そういう方法だって、もし自己資金がなくちゃ、農業なんてできないから、200 万、300 万ほど貸すよって、くれちゃってもいいんだけど、後々、もしもうかったら返してくれと。

市長 農業に新しく参入する、要するに、今まで農業でない仕事についていた人が農業をやるというふうに決めて、始めようという人に対しては、そういうお金を無利息で貸し付けるとか、あるいは一定 150 万ぐらいのお金を補助金としてあげる、そういう制度ももちろんあります。

意見 川越市にもありますか。

市長 国がつくった制度だと思います。

意見 話は変わるけれども、この間タクシー乗ったらさ、タクシーの運転手さんが自分から言ったんですけれども、タクシーの運転手さんの平均年齢が 59 歳だって言うんですよ。なぜかと言ったら、やはり安定していないからってさ。農業もそうやって安定していれば、若い人もやるけれども、もう平均年齢 65 歳ぐらいじゃな

い。

市長 国の方向性としては、農業をやってくれる人のところに農地を集めるというか、そういう人にお任せしようという方向で人・農地プランであるとかが進んでいるんですよね。

意見 規模拡大もいいけれども、若い子も、もし、やりたいんだったら、やはり金がなくちゃできないんで、さっき言ったみたいに 150 万プラス川越市で 200 万上乗せするなど。

市長 川越市で独自にプラスでお金を出すという制度は今のところないんですけれども、少なくとも国はそういう制度を用意して、新たに農業をやりたいという人に対して補助金を出すとか、制度はあります。

意見 100 人がすぐ、はいと返事しないから、二、三人だったら 60 万で済んじゃう。そのように努力のほうをよろしくお願い申し上げます。

《芳野小学校周辺での駐車場確保》

意見 芳野地区は、地域住民がよくまとまっている地区というふうに自負をしているところがございます。それは芳野小学校のグラウンドを中心にして行われております地区の体育祭や盆踊り大会などのイベントの参加者が大変多く盛り上がっているということが挙げられます。いずれも市長にもおいでをいただいておりますけれども、その際に、駐車場が大変不足をしております。芳野地区の地域性かもしれませんが、イベントへの参加に車が多く使用されているために、道路に多くの車両が駐車をしているという状況になっております。イベントはほかにも芳野小学校の運動会や芳野スポーツクラブの活動でございます少年サッカー、少年野球、ママさんバレー等におきまして、周辺地域との競技大会などで同じような状況となっております。

駐車をしている道路は公道といいましても、農道が主でございますので、道路交通法の適用除外として黙認をされているのかもしれませんが、交通安全上からもあまりよい状況ではないのかなと思います。そのようなことで、芳野小学校の周辺、隣接、近接に駐車場を少しでも確保していただけるか、質問させていただきます。

市長 この問題につきましては、私も盆踊りにお邪魔させていただくときに、随分

いっぱい車が農道に並んでいるのを見ております。あの辺は農道だからかもしれませんし、少なくとも駐停車禁止の区域ではないですよ、駐在さんもお見えだから伺いたいんですが。

意見 はい。（芳野駐在所巡査部長）

市長 初めてお聞きした要望ですので、検討させていただくということしか、今はお答えできませんが、検討させていただきます。

意見 十分です。よろしくお願いします。

意見 追加でいいですか。今年の小学校の運動会するときなんですけれども、ちょうど農作業に当たっていた時期だったので、その前にとめられちゃったものですから、作業ができなくて呼び出したんですけれども、なかなかその車が来てくれなくて作業が遅延するという、そういう事例もあったので、何とかよろしくお願いしたいと思います。

市長 本日は、皆様方からいろいろなご意見、ご要望をいただきまして、誠にありがとうございます。正直申し上げまして、なかなか進んでいない事業もございまして、やや心苦しい面もないことはなかったんですが、ぜひその辺につきましては事情をご理解いただきたいと思います。と思っています。

それともう一つ、先ほど地域会議についてお話をさせていただきましたが、地域会議をつくっていただいた趣旨は、先ほど申し上げたようなことでございますので、大いに地元でいろいろ議論をしていただいて、これをどうやって解決できるだろうかというようなことも含めて、皆様方で議論をしていただいて、じゃ、こういうことを我々やるから、市のほうちょっとお金、補助金出してよと、そういうような形で持ってきていただければ、それに向けての対応はできるというふうに考えておりますので、その辺もぜひご検討いただきたいというふうに考える次第でございます。

いずれにしましても、本当にお忙しい中、お集りをいただきましてまことにありがとうございます。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

どうもありがとうございました。